



招提北中だより

枚方市立招提北中学校
H30. 1. 31 (水)
発行者: 校長 山本俊夫

「卒業カウントダウン」



3年生の廊下に「卒業カウントダウン」の掲示がされています。1組と2組の一人一人が、これまでの思い出や友達へのメッセージを記入したものを、卒業式の日まで毎日取り替え掲示するという取り組みです。本校は枚方市内で唯一の「一小一中」校区ですから、ほとんどの皆さんは義務教育9年間以上共に過ごしてきた仲間です。その文章から、そんな仲間への深い思いがしみじみと感じられます。

そんな仲間と一緒に過ごす時間を惜しむかのような姿がありました。もう「仲間と共に取り組む」大きな行事がない中、保健体育科の授業において男女混合で「リズムダンス」が取り込まれました。その際、自分たちから

「発表に向けて練習がしたいので、昼休みに体育館を開けてほしい」との申し出があって開放したところ、なんと！全生徒が昼休み体育館に集まり練習をしていたそうです。残念ながら3年生の発表を見ることができなかったのですが、みんなで創り上げたすばらしいダンスができあがっていたと担当の先生から聞かせてもらいました。いい思い出ができたのではないのでしょうか。

卒業まで約1ヵ月半。この間には「私学入試」や「公立入試」があり、3年生にとっては本当に「正念場」をむかえる時期がやってきました。「受験」を考えたときに、まだまだやらなければならないことがあって、その多さに焦ったり悩んだり、不安になったりすることもあるでしょう。でももうそんなことを考えている場合ではありません。とにかく、**いつやるの？今でしょ！**です。新しい問題集に手をつけるのではなく、これまで取り組んできたものを何度も見返し、自分の弱点を減らすことが大切です。一日一日を大切に、努力し続けてください！

二月の行事予定



- 4日(日) 囲碁・将棋大会(招提北中学校区教育協議会主催)(受付9:00~)
- 5日(月) 代・専
- 6日(火) 生徒朝会 ※給食提供なし
- 7日(水) 1年生・コリアタウンフィールドワーク ※2・3年生給食提供なし
- 8日(木) 全員給食(和食給食コンテスト受賞献立)
- 10日(土) 私学入試
- 14日(水) 公立特別選抜出願(~15日)
- 15日(木) 6年生体験授業・クラブ活動体験
- 20日(火) 公立特別選抜入試(学力検査)
- 21日(水) 公立特別選抜入試(面接・実技)
- 26日(月) 1・2年生学年末テスト(~28日) 3年スポーツ大会
- 28日(水) 公立特別選抜合格発表



土曜授業 1年生職業講話ポスターセッション実施



13日(土)に土曜授業が行われました。1年生では職業講話で聞いた内容を体育館において「ポスターセッション」方式で発表しました。1年生にとって初めての取り組みであるにもかかわらず、「やさしい話し方」「あたたかな聞き方」が見られたいい発表会になりました。

※職業講話をしていただいた方も来られていました。

「ポスターセッション方式」での発表を通して育成したい力として、①ポスター作成のスキル(どのようなポスターを作れば人が見やすいか、人

に伝わりやすいか)②プレゼンテーション能力(自分が感じたこと考えたことなどを、聞いている人にうまく伝えることができるか)③コミュニケーション能力(発表者の意見を聞いて、わからないこと疑問に思ったことを質問することができるか。また発表者は質問に対してうまく答えることができるか)などが挙げられます。基本個人で発表するので、発表者は他の誰かに頼ることはできません。しかしながら聞く人が少人数でしかも近くで聞いてもらえる



ので、大人数の前で発表

することに比べればかなりハードルは低く、親近感を持って話し手と聞き手が一体になれるという利点があります。

今の子どもたちが大人になった頃には、こういった「力」がこれまで以上に求められると考えられています。将来を見据え、今後も様々な取り組みの中で、「ポスターセッション方式」を取り入れた発表の機会を持ちたいと思います。その際には多くの保護者の方に参加していただければと思います。

※今回参加していただいた保護者の皆さまありがとうございました。

小中合同授業研究会



24日(水)に1・2年生全クラスで、船橋小学校の先生方と共に、「小中合同授業研究会」が行われました。皆さんの学びに向かっている姿を見ていただ

き、「これからどのような授業を展開していくのか」「『主体的・対話的で深い学び』のある授業とは」などについて、参加していただいた先生方と教育委員会の皆さんと共に考える機会となりました。どの教科においても生徒の皆さんの頑張りが見られました。ありがとう。

ごく当たり前のことですが、学校は「わからないことがわかるようになる」「知らなかったことを知る」ところで

す。また多くの仲間と共に「高め合う」ところでもあります。今後も教育目標の「気づく つながる 学び合う」の実現に向けた教育活動の展開を小中合同で研究していきたいと思

